

④青森市設計業務等委託請書標準約款【新旧対照表】

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p>第1条～第24条(略)</p> <p>(契約の解除)</p> <p>第23条(略)</p> <p>(暴力団関与の場合の解除)</p> <p>第24条(略)</p> <p>第25条(略)</p> <p>(違約金)</p> <p>第26条 <u>次の各号のいずれかに該当する場合においては、</u> <u>業務委託料の100分の10に相当する額(その額に10</u> <u>0円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)を違約金と</u> <u>して市の指定する期間内に支払います。</u></p> <p><u>一 第23条又は第24条の規定によりこの契約が解除された場合。</u></p> <p><u>二 この契約の履行を拒否し、又は自らの責めに帰する理由により</u> <u>この契約について履行不能となった場合。</u></p> <p><u>2 次の各号に掲げる者がこの契約を解除した場合は、前項第2号に</u> <u>該当する場合とみなします。</u></p> <p><u>一 破産手続開始の決定があった場合において、破産法(平成16</u> <u>年法律第75号)の規定により選任された破産管財人</u></p> <p><u>二 更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法(平</u> <u>成14年法律第154号)の規定により選任された管財人</u></p> <p><u>三 再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法(平</u> <u>成11年法律第225号)の規定により選任された再生債務者等</u></p> <p><u>3 違約金は、業務委託料より控除するものとし、なお不足がある場合</u> <u>は、別に支払います。</u></p> <p>第27条～第30条(略)</p> | <p>第1条～第24条(略)</p> <p>(契約の解除)</p> <p>第23条(略)</p> <p>(暴力団関与の場合の解除)</p> <p>第24条(略)</p> <p>第25条(略)</p> <p>(違約金)</p> <p>第26条 <u>第23条又は第24条の規定によりこの契約が解除された場合</u> <u>においては、業務委託料の100分の10に相当する額(その額に10</u> <u>0円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)を違約金と</u> <u>して市の指定する期間内に支払います。</u></p> <p style="text-align: right;">(新設)</p> <p><u>2 違約金は、業務委託料より控除するものとし、なお不足がある場合</u> <u>は、別に支払います。</u></p> <p>第27条～第30条(略)</p> |